



令和 4 年 9 月 6 日(火)例会 (第2847回) 報告(雨) No.2675

出席率 …… 28/37 75.68% 第2846回補正出席率 …… 36/40 90.00% コロナ対策例会

欠席者 喜多村、小板、中木、中村、西富、福嶋、堀田、村山、渡邊(冬)

メイクアップ(周年委) 4名 (臨時理事会) 13名
(5RC野球) 4名 (定例理事会) 10名

出席免除 足立、岡空、酒井(英)、藤瀬、増谷、渡辺(昇)

◆会長時間 三輪昌輝 会長

コロナ第7波の感染状況がピークアウトした様に見えますが、もう少し待機日数が緩和されればもっと経済を回しやすくなり、Withコロナの最終形のような気がしています。

7月にAUが通信障害を起こし、影響が甚大で賠償総額は75億円だそうです。世の中が想像できないような大通信社会に移行しているという立証です。この事故は、通信に頼らない仕組みを残すことも重要とのメッセージでしょうが、今後は加速度的に大通信時代に移行するでしょうから、真剣に考えようと思った次第です。

◆パスト会長時間 内田幸二 パスト会長(2012-13年度)

2007年2月に入会し、3年目の2009年に幹事、6年目の2012年には会長と、次々に大役が押し寄せました。境港RCの中で、「会員歴が浅いのに大役を拜命する」先駆けが、私だったのではないかと思います。色々な事がありました。この続きは次の機会にまた。



◆幹事報告 赫 太郎 幹事

◎友末G事務所より「月信第3号」「青森県大雨災害支援金願い」 ◎佐藤RI理事より「世界ポリオデー・フォトコンテスト案内」 ◎米子RCより「創立70周年記念式典・祝賀会中止連絡」 ◎地区R財団事務所より「財団室ニュース9月号」が届く ◎9月Rレート1\$=139円 ◎本日例会終了後、「9月定例理事会」

◆8月定例理事会報告 赫 太郎 幹事

【議題】①追加予算(案)【審議】→R研究会分担金(5,000円/1人)一般会計から支出を承認 ②秋の日帰り家族旅行事業(案)【審議】→承認 ③地区大会登録【報告】→会員の2/3以上を目標…最終登録者数:30名(69.76%) ④市民社福大会名義後援【報告】→了承

◆臨時理事会報告 赫 太郎 幹事

【議題】①5RCゴルフ…ポリオ根絶チャリティーゴルフとする ②世界ポリオデーへの協力…広報・社会奉仕・財団の3委員会合同事業として10/16(日)に実施

出席表彰

連続2年 岡空晴夫
連続7年 松本 正 各会員



松本(正)会員

◆例会変更

☆米子東RC 9/21(水) 休会(定款7条) ビジター受付無

— スマイルBOX —

◎出席表彰 松本(正) 【角田昭生様をお迎えて】庄司、瀬戸、谷田、赫、中田、松本(勝)、鷲澤 ○卓話、楽しみにしています。浜田(一) ◎弊社の50周年記念イベント、無事終わりました。三輪 ◎パスト会長卓話をします 内田 ◎倉庫が竣工しました。ご利用お待ちしております。 屬 ◎みなとテラス、ご利用ありがとうございます。 木村 ◎台風、皆さん気をつけて! 定秀 ◎台風、あっち行け! 松井 ◎スマイルに協力 小林、酒井(博)

☆米子中央RC 9/22(木) 休会(定款7条) ビジター受付無
☆米子RC 9/30(金) 休会(定款7条) ビジター受付無

◆9月行事予定(基本的教育と識字率向上/ロータリーの友月間)
9/20(火) 休会(定款7条)

23(金祝)5RC親睦ゴルフ大会(大山平原GC)主管:境港RC

◆委員会報告

◎職業奉仕委員会…高瀬裕章 委員長

9/21に中学生が各企業を訪問します。11月には企業講話の予定です。協力いただく企業の皆様、よろしくお願ひいたします。

◎野球同好会…友森昌幸 会員

昨日(9/5)の5RC野球は境港15-9米子南で勝ちました。RC会員は5名以上の参加が必要です。皆様のご協力をよろしくお願いします。

— プログラム — 「災害に備える」

日本赤十字社 鳥取県支部 角田 昭生 氏

私は高校生の時にアマチュア無線をやりたいたいと思ひ、赤十字奉仕団を紹介してもらったのが入団のきっかけでした。アマチュア無線と防災の結びつきは、東日本大震災の時、すべての通信網が断絶された中、アマチュア無線が活躍したということで、防災と非常に関係が深いものとして注目されました。日本赤十字社鳥取県支部の組織は、平井知事を支部長に県下55の赤十字奉仕団体で約2000人が所属し、ボランティア活動を行い、皆様からの会費をいただいて運営しています。



災害時に必要なことは、まず発生時には「命を守る」ということが大前提です。日本では地震・津波・大雨土砂災害など、私たちが脅かす様々な事が頻りに起きますが、まずは自分の身を守り、速やかに避難することが大事です。また、発生後には「どう暮らしを守るか」ということも大切になります。住んでいる地域を知る、情報を理解して活用する、日頃から近隣の方とのお付き合いをすることも大事なことです。

地震は想定できませんが、大雨土砂災害や台風などは予測できるので、早めに安全な場所に避難するのが大切です。気象・避難の情報に加えて、五感(視覚・聴覚・嗅覚など)の人間の持つ能力も活かして事前に察知して避難することが重要です。集団避難は感染症などの観点から危険を伴うこともあり、マスク・手指消毒の徹底が必須です。また最近では、分散避難も叫ばれています。

災害時には、自助・共助・公助の精神が必要で、「自分の命は自分で守る」、「危険を予測し逃げる方法を事前に考えておく」がキーワードです。自身や家族、地域で助け合える社会づくりが、今後ますます必要となってきます。

今回(9月13日) プログラム

「空飛ぶクルマと交通・物流産業のゲームチェンジ」
日本政策投資銀行 松江事務所 所長 加藤隆宏 氏

次回(9月20日)

休会
(定款7条)

次々回(9月27日) プログラム

「自由奔放な経営を！」
ココリト大根島 代表 松本協一 氏